



東 伴 協 社

発行 伴東学区社会福祉協議会 (☎ 849-0375) 編集 広報部会

地域のあるこれ～コロナ禍でも元気で～

『大原台ふれあい いきいきサロン』

今春からのコロナウイルス感染防止のため、3月より休止をしておりましたが



ゲームサロン(麻雀・囲碁)の愛好家より再開の要請があり、7月より感染予防対策を講じて再開しております。また「いきいきサロン」も大声・声援等を伴わない講習・説明会等で、収容定員内であれば予防対策を講じた上で開催可能となり、11月より町内の演奏グループ(ハーマニカ・オカリナ)の演奏会を皮切りに再開し、寂しい毎日を過ごされていたお年寄りの方へふれあいの機会を与えられる様、今後も開催を続けます。

『松宗ラジオ体操』

9月より、有志と町内会の共催で、ラジオ体操を始めまし



た。沼田第2公園で6時30分から土・日・祝を除いて行います。毎回30名以上が参加し、気持ちのいい朝を迎えています。

『瀬戸内ハイッ いきいきサロン』

10月2日(金)瀬戸内ハイッ自治会館において、22名の参加者が集い、約半年ぶりにいきいきサロンが開催されました。コロナウイルス感染拡大防止のため、三密を防ぎ、入口には消毒スプレー、窓は全開、参加者全員マスクを着用して一時間と限定



し、安公民館の跡野さんたち6名のグループを招き、歌を楽しみました。

『下地いきいきサロン』

下地町内会では6月からいきいきサロンを再開し、6・7月はペタンク、8月は健康チェックを集会所で行った後、屋外で認知症についての講座を開催しました。

9月は認知症サポート養成講座を行い、受講者にはオレンジリングが授与されました。サロン参加の際は、マスク着用、検温、熱がなくても具合の悪い時には休むことを呼びかけ、会場には消毒アルコールを設置して開催しています。



『下向ラジオ体操』



数年前から3人で始めたラジオ体操も少しずつ増え今年に入りコロナウイルス感染防止の対策として自粛生活が始まり運動不足の解消のため参加者が20名を超えるようになりました。やめることも頭をよぎりましたが続けて良かったと思います。これからも三密を避け感染対策を講じて続けてまいります。

告知

第4回伴東学区 グラウンドゴルフ大会

日時：令和2年11月23日(祝)
8時(受付開始)～14時終了
場所：伴東小学校グラウンド
雨天中止

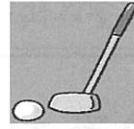


主催：伴東学区社会福祉協議会

コロナ禍で迎えた敬老の日々

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、各町内会とも敬老会は開催されませんでした。元気に敬老の日を迎えられた方々に健康の秘訣などをお伺いしました。

下向町内会



上皇様と同年代の林さん(87歳)。元々自家用船を持つほどの釣りキチで定年後はバトミントンなど軽いスポーツを楽しんでいました。

グラウンドゴルフに出会ったのは二十年前、当地に定着し始めた頃、参加してみると大変年寄り向きの運動に非常に興味を持ったそうです。

米寿を前に奥様と一緒に連日グラウンドゴルフ、これが健康の秘訣。県内はもとより発祥の地、鳥取や遠く沖縄県宮古島まで遠征しました。歳を重ね10キロ圏内を目安に5か所を中心に活躍されています。

体調にあった運動を続けることが健康維持になっていると思えます。

下地町内会



「下地のカープおじさん」の愛称で親しまれている山代高史さん(78歳)は、カープが大好きで、いつもカープ観戦を楽しみにされています。球場で大きな声で応援すること、知らない人と盛り上がり、一期一会のコミュニケーションも元気の秘訣のようです。

地域の見守りでは、子どもたちに「おかえり」と大きな声をかけてくださっています。また、健康麻雀のおかげで地域の交流が深まっていると立ち上げメンバーに感謝をされ「参加することに意義がある」と楽しまれています。ご自身を「極楽とんぼ」と称しながらも、奥様に感謝し、共にカープ観戦や映画鑑賞、外食をすることも元気の秘訣。

松宗町内会



引地時彦さん・アヤ子さん御夫婦(91歳、85歳)の元気の源は夫婦で助け合っ、安心・安全な無農薬野菜や果物を育て、出荷し、農作業を続けていることです。体力・精神力の維持努力は毎朝の歩きや、健康重視の食品摂取では豆腐など手作りを楽しまれています。また大根洗い機など効率の良い作業機械を製作されるなど日々研究されるのが、健康の維持につながっています。

瀬戸内ハイツ自治会

梅田一磨さん・信江さん御夫婦(80歳、81歳)は、豊かな自然環境の中、四季折々変化を見せる木々や花に心を躍らせ、笑顔で過ごせる毎日に感謝し、この上ない幸せを覚えます。

お隣も

みどりとゆとり

八十路かな



大原台町内会

転居されて7年目の中野和さん御夫婦(89歳、86歳)は、地域の皆様に一日も早く解け込めるように、夫婦一緒に町内会のグラウンドゴルフと健康麻雀に参加されました。皆さんに気持ち良く受け入れて頂くことができて、米寿を超えられた現在も仲良く老後の人生を楽しんでおられます。また、奥さまは庭の植木や草花の育成を楽しみとしておられます。



<各町内会・自治会の敬老祝賀対象者推移表>

年度	H30年	R元年	R2年
大原台	567	598	627
松宗	109	113	122
下向	90	104	105
サーパス沼田	0	7	8
下地	99	107	110
瀬戸内ハイツ	212	233	237
ウエルディ大原駅前	3	2	0
ウエルディ大原駅前フェリス	-	-	0

※75歳以上(単位:名)

広島市戸山・伴・大塚地域包括支援センター

地域包括支援センターは、高齢者がすこやかに暮らすためのあらゆる相談に対応する地域の総合相談窓口です。介護・保健・福祉等の様々な相談に応じています。専門職（主任ケアマネジャー・社会福祉士・保健師等）が訪問・電話・来所などにより相談を受け付けています。

主な業務内容

- ・ 介護や健康について
介護保険や介護予防の取り組み、健康維持など、介護や健康に関する相談に対応し、必要に応じて要介護認定の申請代行やケアプランの作成、サービスの紹介を行います。
- ・ 権利や財産について
高齢者の虐待防止や消費者被害の予防、認知症などで財産管理が困難になった場合の対応など、高齢者の権利擁護の相談に応じます
- ・ 地域での暮らしについて
高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、ケアマネジャーへの支援や様々な関連機関とのネットワークづくりを推進します。

重点的に取り組んでいること

- ・ 見守りのネットワークづくり
1人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増えています。そこで、民生委員や地区社会福祉協議会、町内会・自治会、老人クラブ等の地域団体等と連携し、地域全体で高齢者を見守り支えあうためのネットワークづくりを進めています。この取り組みを通じて、高齢者の皆さんが安心して暮らしていける地域づくりを進めています。
- ・ 介護予防拠点づくり
介護予防は元気なうちから継続的に取り組んでいく必要があります。誰もが身近な地域で介護予防に取り組む事ができるよう、地域住民による「介護予防拠点」づくりの活動を支援しています。広島市ではおおむね週1回、いきいき百歳体操などの筋力アップ運動を中心とした活動を行うことを推奨しています。
- ・ 認知症の人と家族が安心して暮らしていける地域づくり
高齢者の四分の一が認知症またはその予備軍であると言われていています。



<戸山・伴・大塚地域包括支援センターの皆さん>

認知症に関する正しい知識の普及と支援の輪を広げていくために「認知症サポーター養成講座」を開催したり、認知症の人と家族、関心のある方が気軽に集い交流できる場「認知症カフェ」の立上げと運営の支援を行っています。

ご紹介した内容以外にも、様々な相談に対応しています。皆さま、お気軽にご相談ください。

所在地…伴中央二丁目5-6

(伴交番のすぐ裏)

電話(082) 849-5860

善意銀行へのご寄付 まごころに感謝

▼香典返しにかえて

(令和2年7月〜10月) 敬称略

(寄付者)芳名 (死没者)芳名

下地 林 文雄 (妻) 林 祥恵

下向 下田 貞明 (母) 下田 フユコ

大原台 森本 正英 (父) 森本 正幸

▼一般寄附

下地 北風 光久様

地藏盆法要と 稲荷神社秋祭り

新型コロナウイルス



ス感染防止のために全ての行事は縮小もしくは中止となりました。中でも大きな行事が八月の地藏盆法要と十月の秋祭りです。隔年で行っている盆踊りを中止とし八月二十二日法要だけを専念寺様に行って頂きました。参加者は二十数名でした。稲荷神社秋祭りは神輿巡行・巫女舞などは中止として神事のみを岡崎神社の宮司様に十月四日行って頂きました。何もないのも淋しいと感染防止対策が可能な茅の輪くぐりを作成し実施しました。二十数名の参拝者の方が経験しました。ほとんどのの方が初めての経験でした。

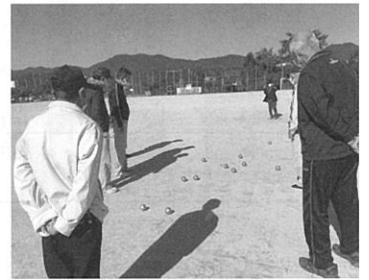


コロナに負けず運動会

9月26日(土)に、伴東小学校で運動会が行われました。今年度は、テントを設置せず保護者の観覧は学年ごとの入れ替えという例年とは異なる形での開催でしたが、子ども達は元気に日頃の成果を発揮していました。

【大会成績1位】

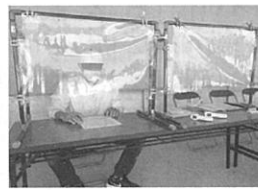
- Aコート 大原台1
- Bコート 大原台2
- Cコート 大原台3
- Dコート 大原台4
- Eコート 下地4
- Fコート 瀬戸内3



ペタンク大会

令和2年10月18日(日)、伴東小学校のグラウンドでペタンク大会が開催されました。秋晴れのもと、中学生から高齢者までの57名の参加者により、19チームが6コートに分かれて、競技しました。初心者でもすぐに競技に参加でき無理なく楽しむことができました。

今回も中学生とともに、久しぶりの息抜きができたこと喜んでおられました。大会を開催するに際して、受付のガードを手作りされたり、消毒等の準備が大変でしたが、皆さんマスク着用でも笑顔が見られて安心しました。



<万全のコロナ対策>

伴東小学校稲刈り実習

十月二十日今年の稲刈り収穫体験が六月二日田植を体験させていただいた松宗の森川(森川石油店)さんの田圃で実施されました。五年生児童七十数名とJA技師三名に下向から九名が指導・応援に参加し一時間三十分で無事終了しました。

今年は残念ながら猪とウンカの被害が大きくほとんど壊滅状態。残っている稲を一株ずつ丁寧に刈り取りました。連日管理を続けられた森川様のお気持ち思うと耐え難いものでした。



編集後記

新たな生活様式のなかで、少しずつ活動が再開されました。人に会える楽しみを改めて感じました。アマビエ様の力を信じています。